第137回 消費者安全調査委員会 議事要旨

■日 時：令和6年1月31日（水）14:01～16:30

■場 所：共用第4特別会議室（Web会議システム併用）

■出席者（敬称略）

<消費者安全調査委員会>

委員長：中川丈久

委員：持丸正明、小川武史、河村真紀子、小塚荘一郎、宗林さおり、東畠弘子

専門委員：大野美喜子、木村哲也、高木元也、田中秀和

有識者：八藤後猛

<消費者庁>

植田審議官、阪口消費者安全課長、池田事故調査室長、事故調査室員

■議事次第：

1. 開会
2. 個別事案について
 - (1) 選定事案
 - (2) 申出事案
 - (3) その他
3. 閉会

■議事概要：

1. 開会
2. 個別事案について
 - (1) 選定事案
 - 「住宅の窓及びベランダからの子どもの転落事故」におけるハード対策の一つとして注目していた、市販されている様々な補助錠に対し、操作性を確認する実験が事務局によって行われた。その結果、そもそもサッシの種類によっては装着できない補助錠があること、また現状、消費者が子ども転落防止用に補助錠を取り付けようとした場合、取り付けようとするサッシに適合したものを選択することは困難であること等が分かった。事務局からのこれらの説明を基に、安全対策について審議した。
 - 令和5年4月20日に公表した「トランポリンパーク等での事故」について、危険性を分かりやすく周知するための啓発媒体として動画を制作中であり、その内容についての審議を行った。

(2) 申出事案

○ 申出のあった個別事案については、選定・不選定事案決定済みの537件及び連絡済みの15件を除く計17件について検討し、調査委員会では次の通り決定した。

- ・引き続き情報収集を行う 15件
- ・調査等を行わない 2件

3. 閉会

文責：消費者庁事故調査室